

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
6	9～10	新築工事現場において、動線上に天板が放置されていたため、災害・事故防止のため即時に社員と2名で天板を移動しようとしている際、腰を捻りヘルニアを発生した。	63～49	30
6	16～17	新築工事現場において、型枠工事に使用するFRPパネルを2階から3階へ移動するため、2階から上げられたパネルを3階で受け取りって床に置く作業中、最後のパネル（約12枚目）を引き上げた際、力が入り過ぎて左手を捻ってしまい、負傷した。	46～9	1
10	13～14	午前中より検査業務で作業を行っていた。午後、天井部のチェック項目にテープマークを貼る為、高さ約40cmの踏台に乗ったところ、立ちくらみを起こして転倒した。その後、作業を継続し帰宅、帰宅途中の電車内で気分が悪くなった。	25～9	1
10	16～17	本社隣接の自社資材置場倉庫内において、資材の整理整頓を行っていた。横25cm×縦25cm×奥行35cmのガムテープの入った箱（約12kg～13kg）を高さ約2mの棚へ持ち上げ、つま先立って奥へ押し込もうとした時に左足アキレス腱を断裂した。	66～49	30
10	18～19	道具の整理、作業車の清掃の作業中、道具の積み下ろしで力を入れた際に右肩に痛みが走った。	21～9	1
11	10～11	当社倉庫で、片付け（整理）をしている際、足場材を持って、降ろす時に膝を曲げずに降ろした為、肉離れをおこす。左足太腿の裏側がつってしまった。	55～9	1
				1

12	15~16	重機を降りる際、キャタピラーから足を滑らせ手をついたところ骨折した。	46	~ 9
12	10~11	浴室で入浴介助中、利用者の体を浴室から浴槽へ移動する際、利用者のわきの下に自分の両腕を回し持ち上げて、利用者のでん部を浴槽のへりにのせて浴槽に体を浸け、浴槽からわきの下に両腕を入れて持ち上げ、へりにでん部をのせて浴室に体を移動する際に右下腿部、右大腿部を挫傷した。	52	1 ~ 9
12	16~17	会社営業所内の作業場にて、長尺鉄筋を切断する作業中、中腰での作業であったため、腰痛を発症した。	20	1 ~ 9
12	16~17	鉄筋コンクリート造4階建て建築工事現場で、現場入口に置いてあるサポート4本を左肩に担いだ状態で、1階現場の建物入口まで運ぶため車をよけて歩行していたとき、現場入口付近で、左肩が急に脱臼した。	25	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html